

目標達成計画

作成日: 平成 27 年 4 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|------------------------------------|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 35 | 火災や地震、水害など災害時におけるマニュアルを消防署、町と相談して実践的なものに改正中である。備蓄食料について実際に災害になった時に使いやすい必ずしも使いやすいとは言えない。 | 防災マニュアルを作成する。備蓄食料を実際に使いやすいものに変更する。 | 消防署、町と相談しながら、当グループホームのおかれた状況に適した実現可能な火災対処マニュアルを作成する。(27年3月中に作成済)地震、水害などのマニュアルは更に情報を分析してマニュアル作成をめざす。備蓄食料はレトルト食品、粥、α米などに変更する。 | 6ヶ月 |
| 2 | 13 | 職員の定着は改善の方向にあるが、個々の職員間の経験、実力にばらつきがあり、全体として能力向上を図る必要がある。 | 各職員の能力を向上させグループホーム全体の介護力を高める。 | 職員の能力を見極めるとともに、家庭の事情や将来の希望を把握し個別に段階を踏まえて、能力向上を図る。資格取得については奨励し、ある程度の補助を支給する。親睦会などを催して職員間の融和をはかりチームワークの向上を図る。 | 6ヶ月 |
| 3 | 49 | 冬期は季節的に、感染症や風邪の危険があるので、外出は、あまり出来ていない。 | 散歩や買い物を楽しめるようにする。 | 希望者には積極的に外出支援する。花見や祭りなどのイベントに参加する。福祉車両(車いすのまま乗車可能)を交通安全を徹底した上で活用する。 | 3ヶ月 |
| 4 | 2 | 区とのつながりはあるが、ご近所とのつきあいは、業務にかまけて、あまり出来ていない。 | ご近所と自然な近所つきあいができる。 | 利用者の外出の際に、挨拶や自然な会話ができるようにする。社協のボランティアセンターにボランティアの派遣を依頼する。 | 6ヶ月 |
| 5 | 3 | 実習や見学は受け入れており、一定の地域への貢献は行っているが、地域にとけこむような貢献はできていない。 | 貢献を通して地域にとけこむ。 | グループホームで行う催し物に地域の老人を招待する。 | 6ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。